たかしん 景況レポート

WAVE

No.201

目次

・第201回景気動向調査
2025年７－９月期

・特別調査
「不透明感が増す経済社会情勢と
中小企業経営」

・シリーズ「上野三碑かるた・あ」

・店舗紹介（南支店）

高崎信用金庫

全業種総合

回答398企業（回答率88.6%）

今期の業況（2025年7-9月期）　業況は６業種中５業種で低下

全業種合計の業況判断指数（DI）は、前回調査（2025年4-6月期）の△15から６ポイント低下の△21となり、６業種中５業種で低下となった。

業種別DI値は、製造業は△36（前期比５ポイント低下）、卸売業は△14（同比17ポイント上昇）、小売業は△23（同比13ポイント低下）、建設業は△13（同比2ポイント低下）、サービス業は△25（同比18ポイント低下）、不動産業は＋10（同比３ポイント低下）となり、製造業、小売業、建設業、サービス業、不動産業の５業種で低下し、最も低下幅が大きかったのはサービス業であった。

来期の業況（2025年10-12月期）　来期はやや上昇を予想

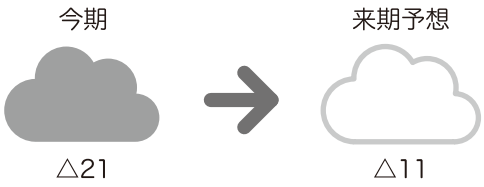
来期の全業種合計の予想業況判断指数（DI）は、今期に比べ10ポイント上昇の△11となり、やや上昇を予想している。

業種別では、製造業、小売業、建設業、サービス業、不動産業の５業種で上昇、卸売業の１業種で低下の見通し。

高崎地区の景況天気図

	2024年 7－9月期	2024年 10－12月期	2025年 1－3月期	2025年 4－6月期	今期 2025年 7－9月期	来期予想 2025年 10－12月期
全業種	△15	△ 4	△16	△15	△21	△11
製造業	△24	△17	△26	△31	△36	△21
卸売業	△12	＋ 9	△36	△31	△14	△18
小売業	△26	△13	△22	△10	△23	△14
建設業	△ 5	＋ 5	△ 5	△11	△13	△ 2
サービス業	△ 7	0	△ 8	△ 7	△25	△15
不動産業	＋ 3	＋16	＋17	＋13	＋10	＋17

←好調　低調→



項目別にみると、売上額DIは△13、前期比2ポイント低下、収益DIは△15、前期比8ポイント低下した。

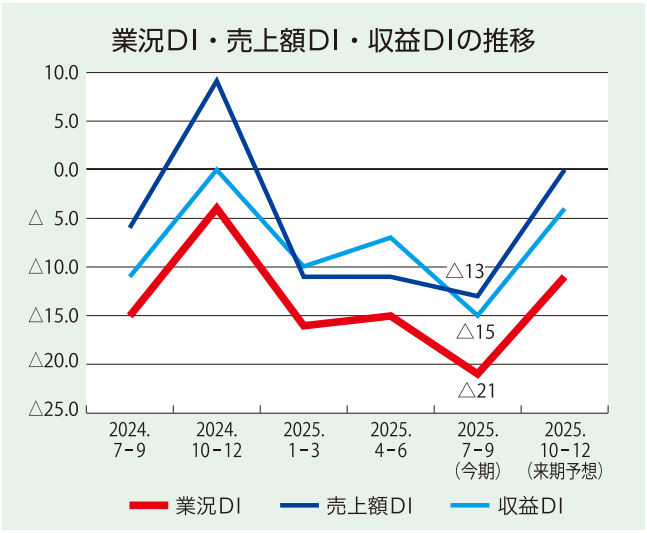
販売価格DIは＋19、前期比2ポイント低下、仕入価格DIは＋48、前期と変わらず。

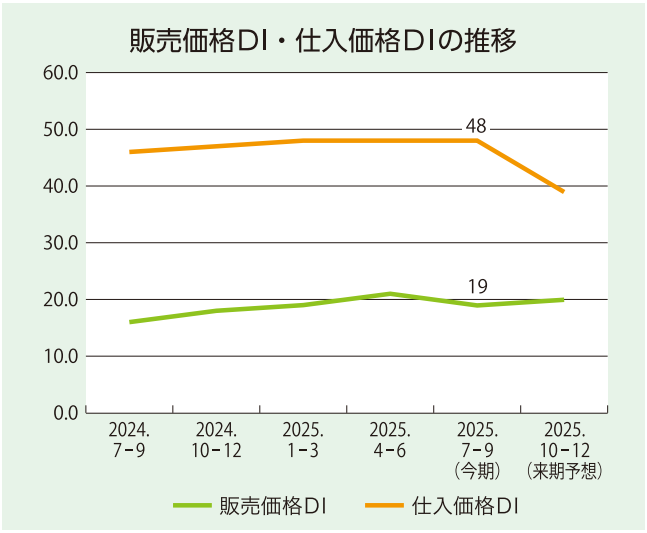
前年同期比売上額DIは△9、前期比5ポイントの低下、同収益DIは△13、同比4ポイント低下した。

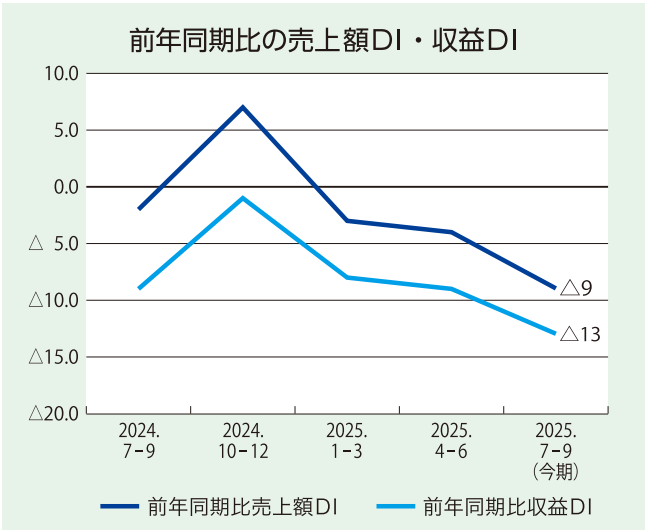
雇用面では、人手過不足DIが△31（マイナス幅が大きいと人手不足感が強い、前期は△28）で人手不足感が続いている。

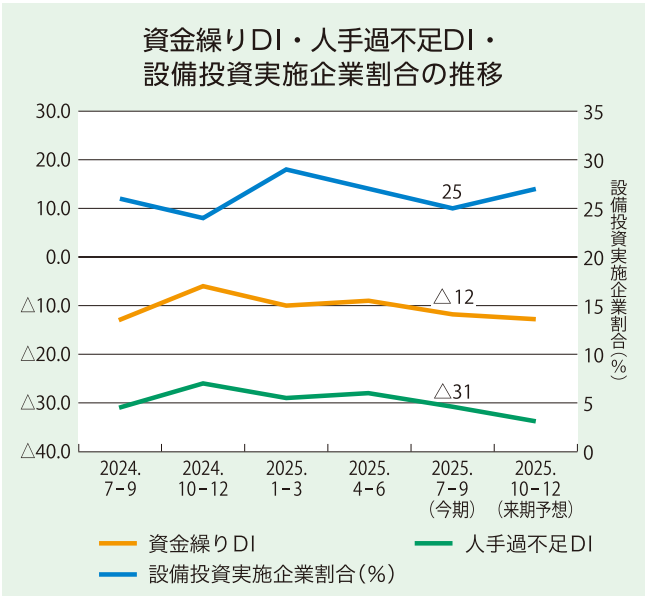
資金繰り面では、資金繰りDIは△12で、前期比3ポイントの悪化。

設備の状況は、設備投資実施企業割合は25%、前期比2ポイント低下した。









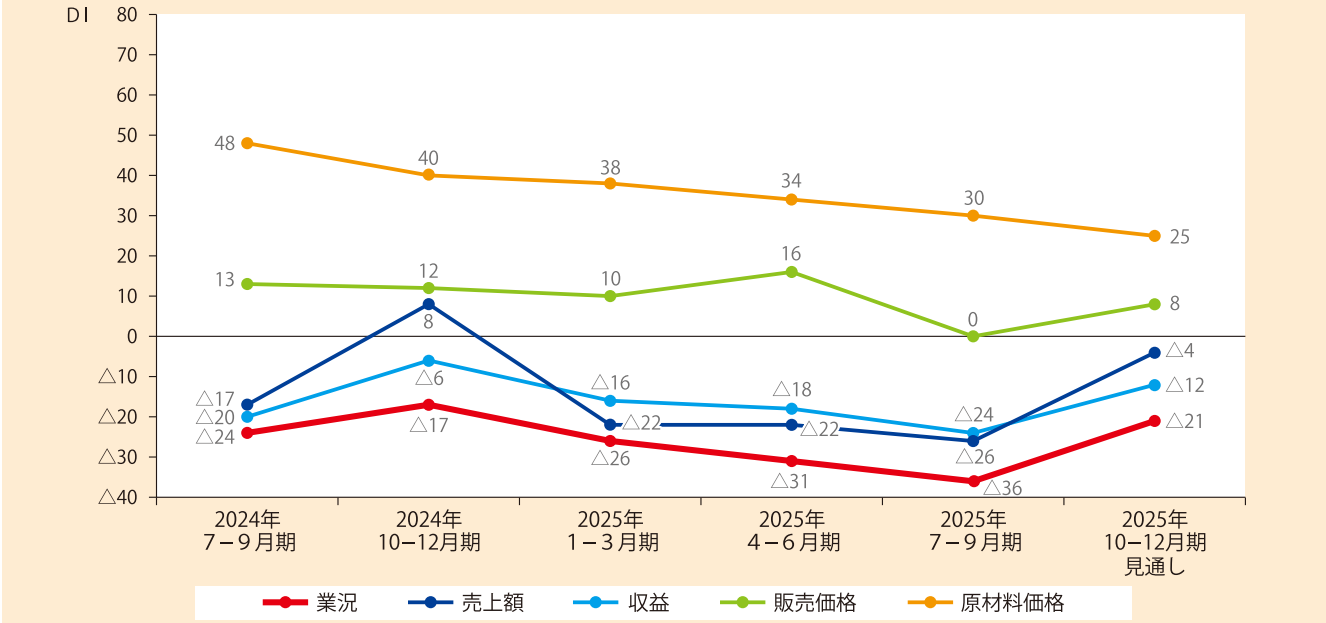
第201回景気動向調査 調査概要

1．調査時期：2025年7～9月
2．調査地域：高崎市
3．調査方法：アンケート用紙に基づく面談調査
4．分析方法：各質問事項で「増加・上昇」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少・下落」したとする企業の構成比との差（判断DI）を中心に分析を行いました。
5．対象企業：449社（有効回答数398社・回答率88.6%）

製造業

91企業

今期 △36 → 来期予想 △21



今期の業況（2025年7-9月期）

製造業の業況DIは△36、前期比5ポイント低下し、3期連続で低下した。

売上額DIは△26、前期比4ポイント低下、収益DIは△24、同比6ポイント低下した。

原材料価格DIは＋30、同比4ポイント低下し、4期連続で低下した。

人手過不足DIは△22となり、人手過不足感はわずかに悪化した。

設備投資実施企業割合は24%で、前期比2ポイント低下した。

来期の業況（2025年10-12月期）

来期の予想業況判断DIは△21と、今期実績比15ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期（見通し）
業　況	△31	△36	△21
売上額	△22	△26	△ 4
収　益	△18	△24	△12
販売価格	16	0	8
原材料価格	34	30	25
人手過不足	△17	△22	△32
資金繰り	△15	△12	△18
設備投資実施企業割合（%）	26	24	24

経営上の問題点（複数回答）

・売上の停滞・減少	58%
・人件費の増加	32%
・人手不足	29%

当面の重点経営施策（複数回答）

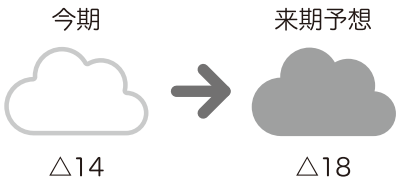
・販路を広げる	63%
・経費を節減する	41%
・人材を確保する	32%

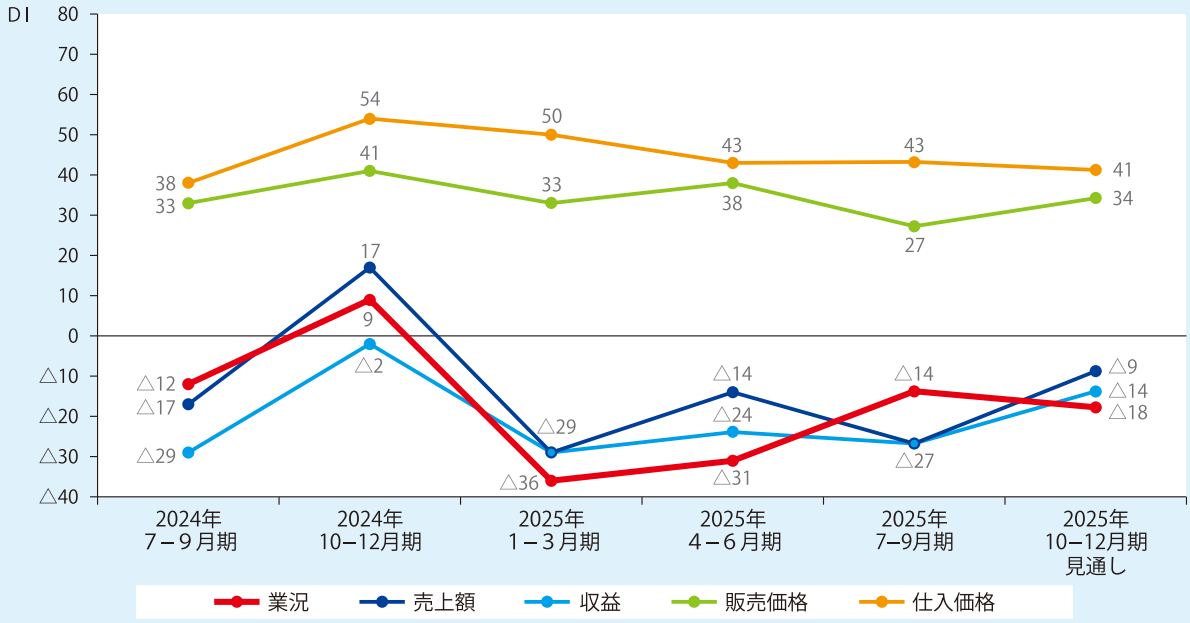
調査員のコメント

○米国の関税の影響が出始めており、自動車関連の受注が減少している。
○積極的に展示会等に参加し、売上増加に努めている。
○相変わらず人手不足であり、長時間の残業で対応している。

卸売業

44企業





今期の業況（2025年7-9月期）

卸売業の業況判断DIは△14、前期比17ポイント上昇し、2期連続で上昇した。

売上額DIは△27、同比13ポイント低下、収益DIは△27、同比3ポイント低下した。

仕入価格DIは＋43、前期と変わらず。

人手過不足DIは△30となり、人手過不足感はわずかに改善した。

設備投資実施企業割合は30%で、前期比3ポイント低下した。

来期の業況（2025年10-12月期）

来期の予想業況判断DIは△18と、今期実績比4ポイント低下を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期（見通し）
業　況	△31	△14	△18
売 上 額	△14	△27	△ 9
収　益	△24	△27	△14
販売価格	38	27	34
仕入価格	43	43	41
人手過不足	△33	△30	△36
資金繰り	0	0	0
設備投資実施企業割合（%）	33	30	30

経営上の問題点（複数回答）

・売上の停滞・減少	50%
・同業者間の競争の激化	38%
・人手不足	34%

当面の重点経営施策（複数回答）

・販路を広げる	52%
・情報力を強化する	43%
・人材を確保する	38%

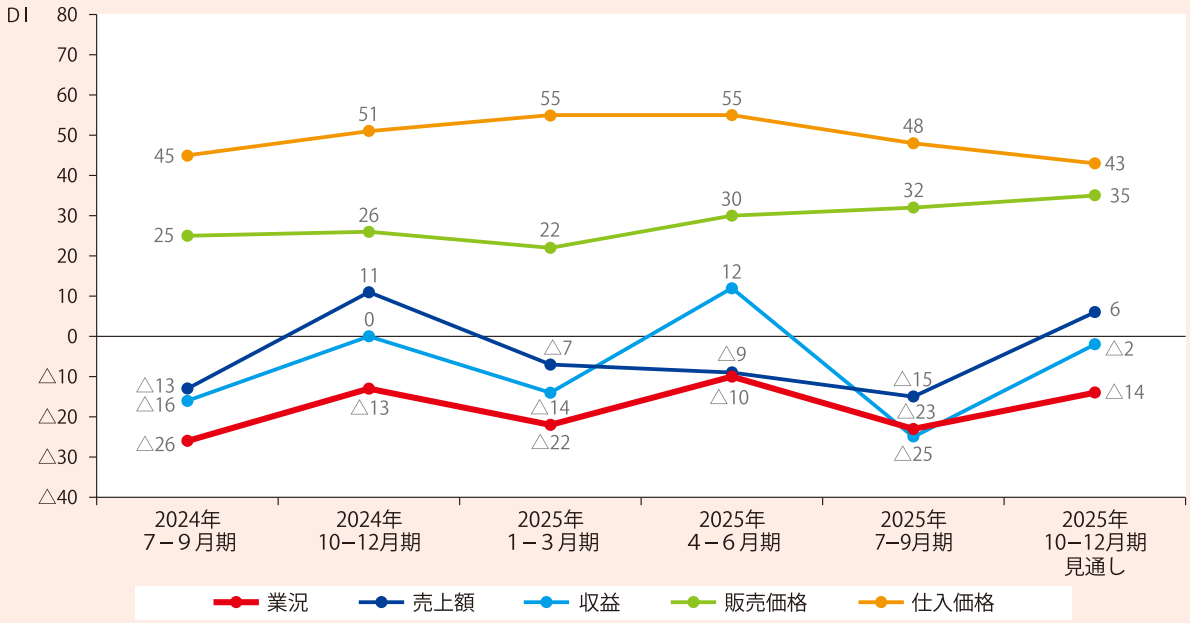
調査員のコメント

○地域経済の衰退に伴い仕入先が減少しており、商品不足が課題となっている。
○猛暑の影響で野菜等の仕入価格が上昇している。
○コメ不足の影響は畜産業界にも及んでおり、仕入価格高騰が顕著である。

小売業

81企業

今期 △23 → 来期予想 △14



今期の業況（2025年7-9月期）

小売業の業況DIは△23、前期比13ポイント低下し、小幅低下となった。

売上額DIは△15、同比6ポイント低下、収益DIは△25、同比37ポイント低下した。

仕入価格DIは＋48、同比7ポイント低下した。

人手過不足DIは△21となり、人手過不足感はやや悪化した。

設備投資実施企業割合は15%で、前期比3ポイント低下した。

来期の業況（2025年10-12月期）

来期の予想業況DIは△14と、今期実績比9ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期（見通し）
業　況	△10	△23	△14
売上額	△ 9	△15	6
収　益	12	△25	△ 2
販売価格	30	32	35
仕入価格	55	48	43
人手過不足	△15	△21	△22
資金繰り	△17	△22	△23
設備投資実施企業割合（%）	18	15	19

経営上の問題点（複数回答）

・売上の停滞・減少	38%
・仕入先からの値上げ要請	29%
・利幅の縮小	24%

当面の重点経営施策（複数回答）

・経費を節減する	48%
・品揃えを改善する	23%
・売れ筋商品を取扱う	23%

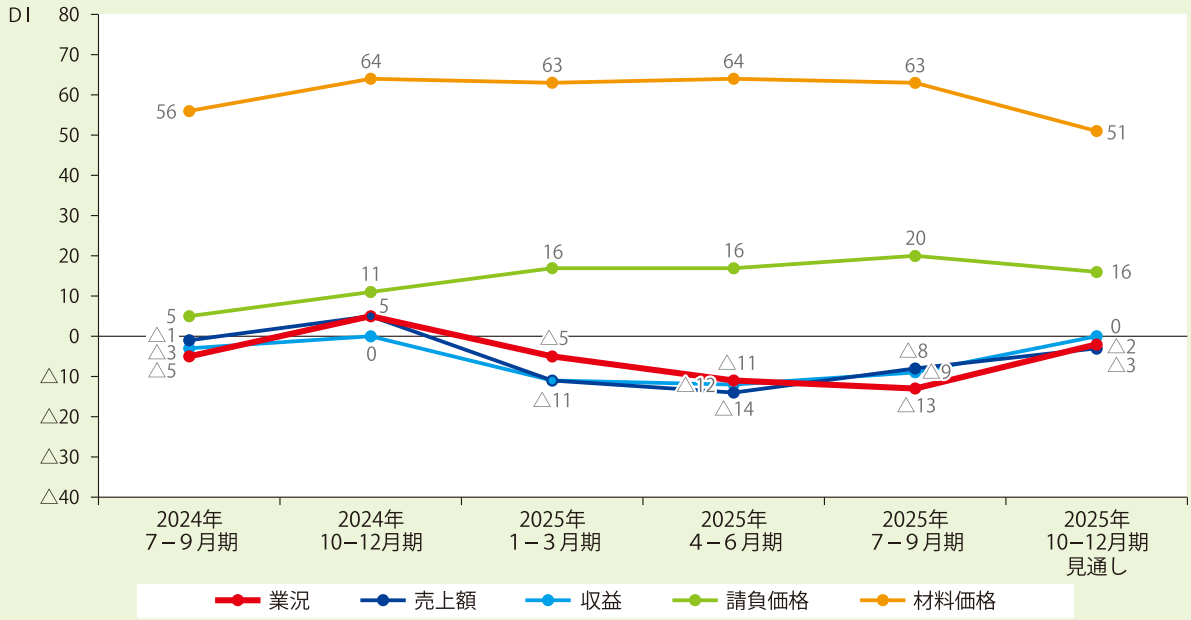
調査員のコメント

○中古車需要は旺盛であり、売上は順調である。
○猛暑の影響で来店客が減少している。
○ＳＮＳを利用して集客につなげている。

建設業

92企業

今期 △13 → 来期予想 △2



今期の業況（2025年7-9月期）

建設業の業況DIは△13、前期比2ポイント低下し、3期連続で低下した。

売上額DIは△8、同比6ポイント上昇、収益DIは△9、同比3ポイント上昇した。

材料価格DIは＋63、同比1ポイント低下した。

人手過不足DIは△54で、人手過不足感は悪化した。

設備投資実施企業割合は32％となり、前期と変わらず。

来期の業況（2025年10-12月期）

来期の予想業況DIは△2と、今期実績比11ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期（見通し）
業　況	△11	△13	△ 2
売 上 額	△14	△ 8	△ 3
収　益	△12	△ 9	0
請負価格	16	20	16
材料価格	64	63	51
人手過不足	△52	△54	△58
資金繰り	3	△ 7	△ 5
設備投資実施企業割合（%）	32	32	38

経営上の問題点（複数回答）

・人手不足	57%
・材料価格の上昇	51%
・売上の停滞・減少	38%

当面の重点経営施策（複数回答）

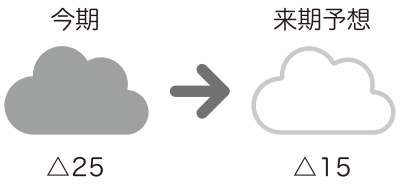
・人材を確保する	59%
・経費を節減する	45%
・販路を広げる	34%

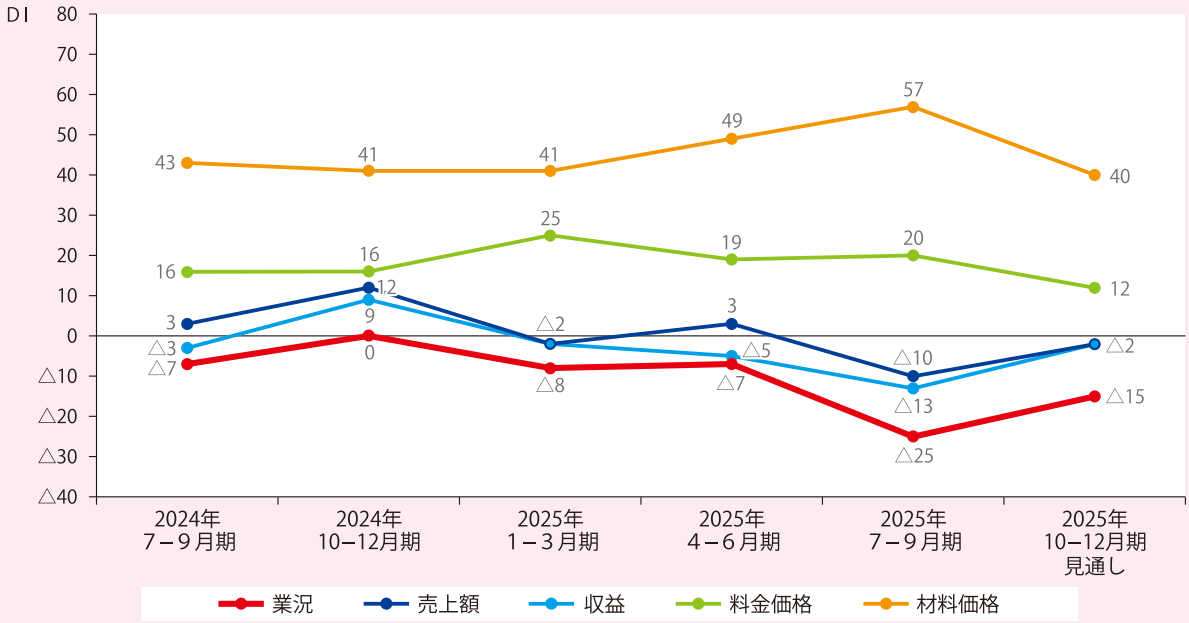
調査員のコメント

○材料費等を考えると、円高に向かってほしいと考えている。
○資材高騰による利幅縮小が課題。現場ごとに採算管理を徹底している。
○労働時間制限に伴う工期の長期化により人件費が上昇している。

サービス業

60企業





今期の業況（2025年7-9月期）

サービス業の業況DIは△25、前期比18ポイント低下し、小幅低下となった。

売上額DIは△10、同比13ポイント低下、収益DIは△13、同比8ポイント低下した。

材料価格DIは＋57、前期比8ポイント上昇した。

人手過不足DIは△37となり、人手過不足感はわずかに悪化した。

設備投資実施企業割合は28%で、前期比1ポイント上昇した。

来期の業況（2025年10-12月期）

来期の予想業況DIは△15と、今期実績比10ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期（見通し）
業　況	△ 7	△25	△15
売上額	3	△10	△ 2
収　益	△ 5	△13	△ 2
料金価格	19	20	12
材料価格	49	57	40
人手過不足	△32	△37	△32
資金繰り	△15	△20	△18
設備投資実施企業割合（%）	27	28	25

経営上の問題点（複数回答）

・人手不足	35%
・売上の停滞・減少	33%
・人件費の増加	30%

当面の重点経営施策（複数回答）

・人材を確保する	40%
・経費を節減する	36%
・販路を広げる	31%

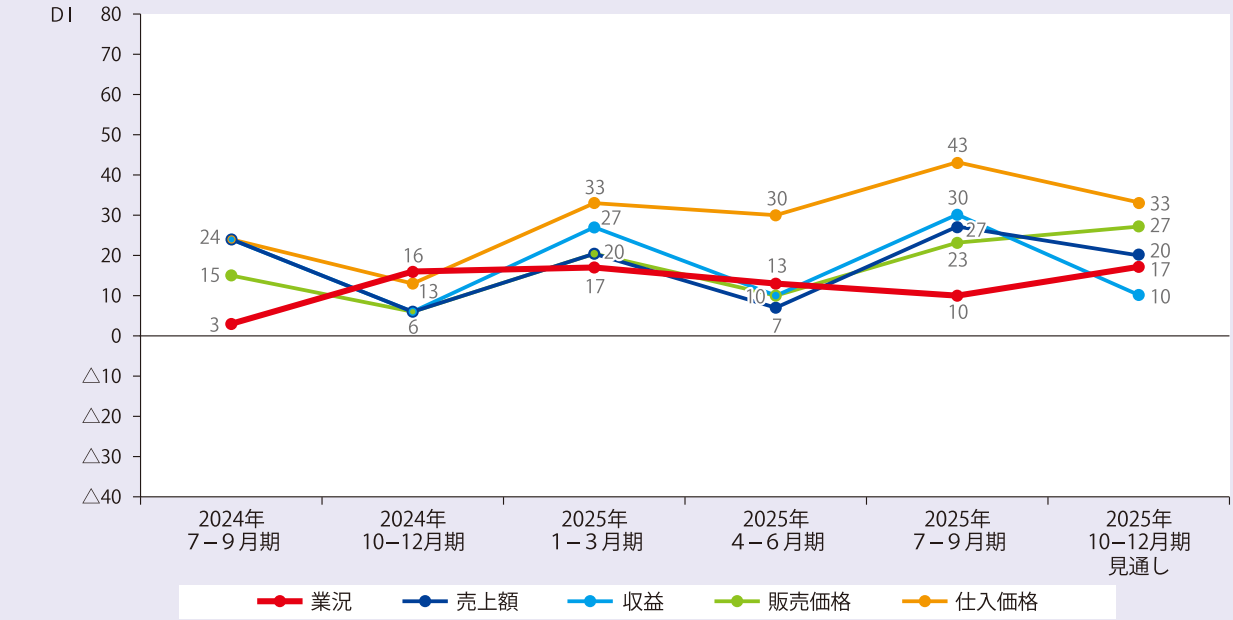
調査員のコメント

○関税や為替の影響は感じないが、物価上昇の影響は強く感じている。
○ＳＮＳの効果により、来店客数も徐々に増加している。
○猛暑の中、従業員の体調も考え、工場にエアコンを設置しようと考えている。

不動産業

30企業

今期 ＋10 → 来期予想 ＋17



今期の業況（2025年7-9月期）

不動産業の業況DIは＋10、前期比3ポイント低下し、2期連続で低下した。

売上額DIは＋27、同比20ポイント上昇、収益DIは＋30、同比20ポイント上昇した。

仕入価格DIは＋43、同比13ポイント上昇した。

人手過不足DIは△7となり、人手過不足感はわずかに改善した。

来期の業況（2025年10-12月期）

来期の予想業況DIは＋17と、今期実績比7ポイント上昇を見込んでいる。

各種DIの状況

	2025年 4-6月期	2025年 7-9月期	2025年 10-12月期（見通し）
業　況	13	10	17
売 上 額	7	27	20
収　益	10	30	10
販売価格	10	23	27
仕入価格	30	43	33
人手過不足	△13	△ 7	△ 3
資金繰り	△ 3	3	3

経営上の問題点（複数回答）

・商品物件の不足	50%
・同業者間の競争の激化	43%
・商品物件の高騰	26%

当面の重点経営施策（複数回答）

・情報力を強化する	70%
・宣伝・広告を強化する	43%
・販路を広げる	30%

調査員のコメント

○相続関連の相談が多くなっている。
○物件の不足、高騰が影響し、売上は前期より低迷している。
○不動産競売にも精力的に入札しているが、昨今の価格高騰により落札できていない。

特別調査

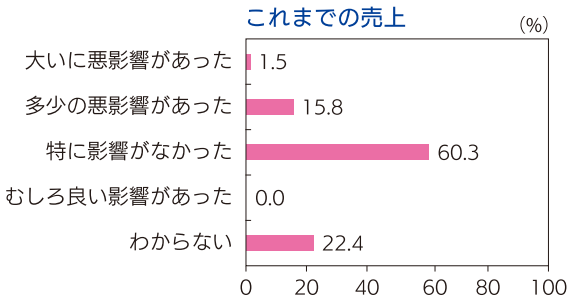
不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営

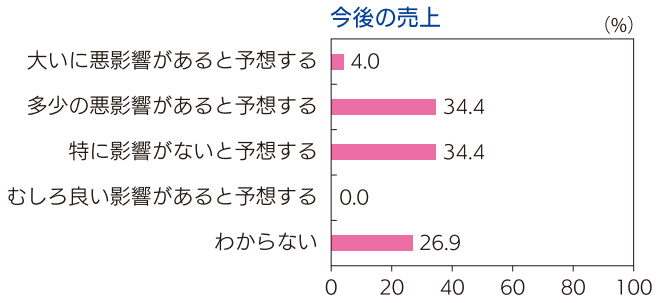
＝ 景況レポート No.201　特別調査結果 ＝　（令和7年7月～9月期）

今回は、不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について、当金庫のお客さま398企業に特別調査を実施いたしました。

問1

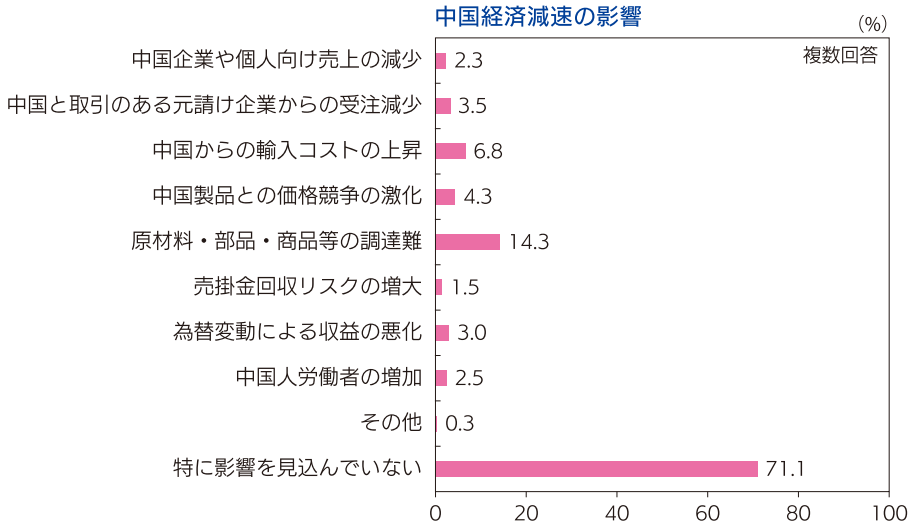
トランプ大統領就任後、米国の経済社会政策（関税等）には不透明感が増しています。こうした動きを受けて、貴社の売上にこれまで影響がありましたか。また、今後の売上に影響があると予想しますか。それぞれ１つ選んでお答えください。





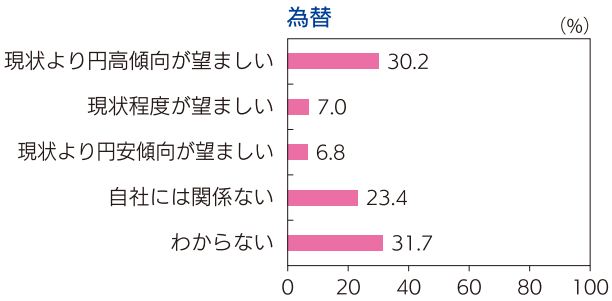
問2

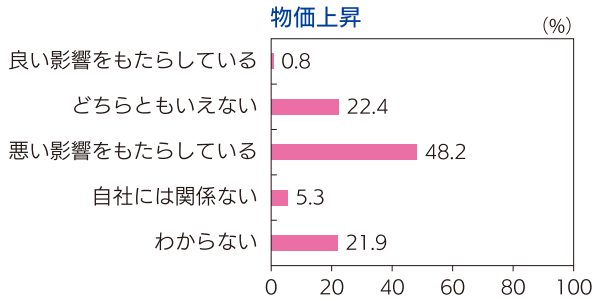
中国経済の減速が懸念されていますが、貴社に対して間接的な事象も含めてどのような影響が見込まれますか。３つ以内で選んでお答えください。



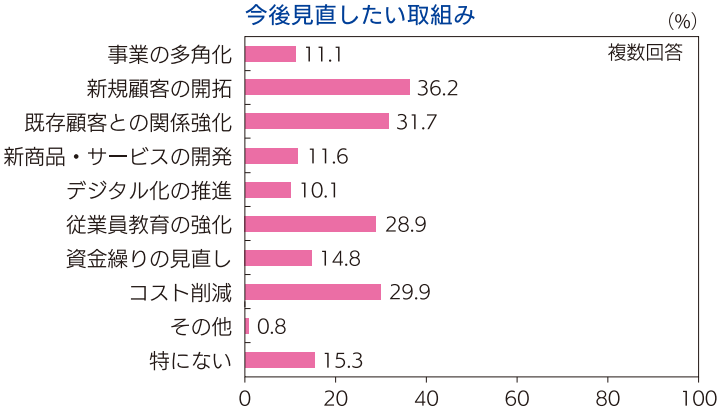
問3

今後の外国為替相場（主に円ドル相場）の貴社にとって望ましい水準について、また、コロナ禍以降の物価上昇傾向が貴社の経営にもたらす影響について、それぞれ１つ選んでお答えください。

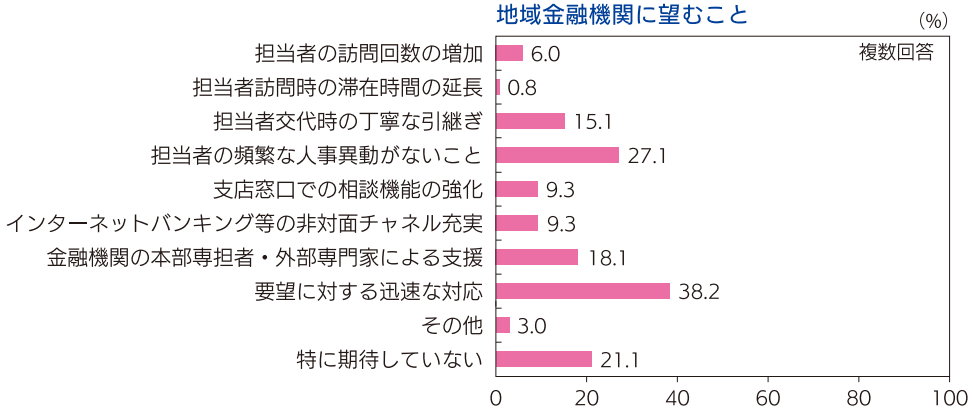




問４　不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で今後見直したい取組みはありますか。３つ以内で選んでお答えください。



問５　不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについて、３つ以内で選んでお答えください。

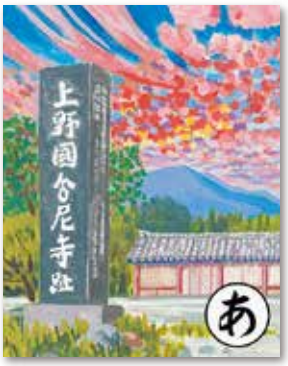


上野三碑かるた（こうずけさんぴ）

読み札を紹介します ②

高崎信用金庫は、ユネスコ「世界の記憶」に登録された文化遺産、上野三碑の普及推進活動に取り組んでいます。

上野三碑かるたは、地域の貴重な文化遺産である上野三碑と、その所在する地域や関連する文化財にかかわるもの等を読み札にしたかるたです。
読み札とともに、地域の貴重な文化遺産をご紹介します。



天平13年（741）、聖武天皇は、全国へ向けて国分僧寺、尼寺を建てるよう命令しました。これをいち早く実行した上野国（今の群馬県）において、寺の屋根にのせた瓦を生産していたのが、上野三碑のある古代多胡郡です。

◆ 店舗紹介 ◆

南支店

住所 〒370-0831 高崎市あら町1−14
TEL 027-322-2816

預金・融資・営業担当

南支店は、1925（大正14）年に高崎信用組合南出張所として開設し、今年100周年を迎えました。戦前からのお取引先や、世代を越えてご利用いただいているお客さまもいる歴史のあるお店です。

営業エリアは、高崎駅西口～高崎市役所周辺で、小売店や飲食店などのサービス業が多い商業地区です。

たかしん南支店を紹介します！

南支店長　**丸山 卓司**

支店長、次長と支店長代理

当店は、職員10名（派遣職員除く）で、支店長他管理職4名、預金・融資担当４名、営業担当２名で構成されています。管理職以外は全員20代で、フレッシュな職員が元気一杯活動しています。

南信会の旅行で
高岡市に行きました

飲食店が多い地区であることから、「高崎はしご酒（飲食店を周遊するイベント）」が開催される際は、毎回、職員でチケットを購入し、お客さまの店舗を回りながら、職員同士の親睦を深めています。

また、南支店には「南信会」というお客さまを会員とした後援会団体があり、旅行、ボーリング大会などを通して、会員同士の交流を図っています。先日も、富山県高岡市へ研修旅行に行ってきました。

これからも、100年の歩みで培った信頼関係を大切にし、若い力でさらに地域に貢献できるよう活動してまいります。ちょっとした困りごとでも、お気軽にご相談ください。職員一同心よりお持ちしております。

たかしん公式 Instagram はじめました

高崎信用金庫は、インスタグラムの公式アカウントを開設しました。
当金庫の取組みや地域情報、お客さま情報などを発信していきます。
ぜひ、フォロー、いいね！をよろしくお願いします！

@takasaki_shinkin_gunma

本レポートは、情報提供のみを目的として作成したものです。掲載資料は当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その正確性や安全性を保証するものではありません。投資等に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。

当金庫ホームページでも、たかしん景況レポートをご覧いただけます。
また、本調査への皆さまのご意見、ご希望がありましたら、お気軽にお寄せください。

高崎信用金庫　経営管理部　TEL. 027-360-3422（直通）